

～ お帰り夏鳥 森の夏～
ツバメ・キビタキ・センダイムシクイ



相生山の四季を歩く会
#136 2021.5.9

最近 確認できた子たち

キジバト(雉鳩)
コゲラ(小啄木鳥)
カケス(掛巣)
ハシボソガラス(嘴細鴉)
ハシブトガラス(嘴太鴉)
ヤマガラ(山雀)
シジュウカラ(四十雀)
ツバメ(燕)
ヒヨドリ(鶇)
ウグイス(鶯)
ムクドリ(鶯)
キビタキ(黄鶇)
スズメ(雀)
ハクセキレイ(白鶺鴒)
ソウシチョウ(相思鳥)

夏鳥たちの美声を
聞きながら
なぜに過酷な
旅をするのだろうかと
思ってみる
新緑の森で

キビタキのさえずりを聞きとりま
しょう。ツバメ、何羽か会えると思
います。運が良ければセンダイム
シクイの「焼酎一杯ぐーい」聞こえ
るかもしれません。もっと運が良け
れば、2日くらいしか滞在しないオ
オルリの声も・・・

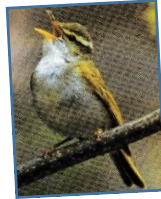
キビタキ(黄鶇)

スズメ目ヒタキ科 夏鳥
スズメと同じ大きさ
囀り:ピッコロロ、ピョイチー、
ホッピーーなど
地鳴き:ピッピッ、ティリリリ
・・・など 鳴き真似
♂=眉斑:黄、長い 喉:オレンジ 下面:黄
背:黒+白斑 ♀=上:オリーブ 下:汚白
平地～山地おもに落葉広葉樹林
餌:昆虫=フライングキャッチ



センダイムシクイ

(仙台虫喰)
スズメ目ムシクイ科 夏鳥
スズメくらいの大きさ
雌雄同色 繁みに隠れて
見つけ難い。



参考資料:ヤマケイホケツガイト 野鳥

水・森・いのちを守るラプリーアースJapan ホームページより

森のひとり言

北岡明彦

その六拾巻 : 森を楽しむ(初夏編) その2

5月～6月は若葉が一斉に芽吹くため、それを餌とする昆虫たちの幼虫、とりわけガ類やハムシ類の幼虫が大発生します。これらの幼虫は、ちょうど繁殖期を迎える夏鳥のヒナたちの餌になります。

自然の仕組みは、この昆虫の幼虫発生シーズンと野鳥のヒナ発育シーズンがピッタリ一致するようにできています。

わざわざ遠い沖縄や東南アジアで冬を越すのは、南方では餌となる昆虫やヘビなどの小動物が一年中活動しているからです。空を飛ぶ小昆虫を空中で食べるヒタキ類(フライキャッチャー)やヘビ・カエルを食べるサシバは、本州では越冬はできません。

オオルリやキビタキたちはゴールデンウィーク頃に決まって本州に飛来します。早くもなく遅くもなく、ちょうど餌となる昆虫が出現する時期に合わせてやってきます。

鳥たちには、渡りのコースを間違えない能力とともに、渡りの時期を間違えない体内時計も持ちあわせているようです。あの小さな体のいったいどこに、そのような能力が秘められているのでしょうか？

オオルリ・コルリ・キビタキといった美しい小鳥たちをじっくり観察できると、私たちは一日中幸せな気分になります。

でも、鳥たちは、精一杯の力を出し尽くしてやってきて、子育てをしています。

彼らに負荷を与えることなく、遠くからその姿を楽しみたいものです。



オオルリ

(2013.05)

5月2回目は
ヒメボタル観察会
14日(金)、22日(土)
20:30 相生口入口
悪天候中止

次回は 6月13日(日)

～ 菌類入門～

ついに♥始まる
キノコのアレコレ

「プリンセスのお茶」

自然生えの
山の茶つみと
なんちゃって
製茶体験など

5月～6月

岐阜県七宗町
ラプリーアースの山林

詳細お問い合わせ相談



連絡先(古川)

tell/fax: 052-821-6463

ケイタイ: 080-5124-6463

e-mail: viva_forest@yahoo.co.jp

ホームページ: ラプリーアース → 検索

ブログ: 相生山からのメッセージ

相生山の5月初めは初夏の花ざかり
 ……のハズですが……
 ことしは 早く咲ききってしまいました



エゴノキ



シャリンバイ



スイカズラ



カタバミ

樹木だけだと
 もの足りない……ならば
 身近な草花にも目を向けよう

相生山 初夏の草本 (相生口から登場順)

No	標準和名	漢字表記	科	メモ	類似種
1	カタバミ	片喰	カタバミ	三出複葉、シュウ酸、ヤマトシジミの食草、酢漿草紋	ムラサキカタバミ オッタチカタバミ
2	ヤハズエンドウ	矢筈豌豆	マメ	別名:カラスノエンドウ(烏野豌豆)、蜜腺←蟻で防衛	外来 スズメノエンドウ カスマグサ
3	セイヨウタンポポ	西洋蒲公英	キク	総苞片が反り返る	外来
4	コムツツメクサ	米粒詰草	マメ	三出複葉	外来
5	ヒメジオオン	姫女菀	キク	姫は抱かない =鉄道草、柳葉姫草	外来 ハルジオン
6	セイトカアワダチソウ	背高泡立ち草	キク	アレロパシーによる拡大と「自家中毒」、蜜源植物	外来
7	シロツメグサ	白詰草	マメ	別名:シロクローバ 牧草、土壌侵食防止	外来
8	ニワゼキショウ	庭石菖	アヤメ	一日花、	外来
9	オオイヌフグリ	大犬の陰囊	オオハコ	クワガタソウ属、紫のライン=ハニー(蜜)ガイド	外来 イヌフグリ タチイヌフグリ
10	アメリカフウロ	アメリカ風露	フウロウ		外来
11	ヤブヅラミ	藪虱	セリ	果実→ひつつき虫	
12	オニタビラコ	鬼田平子	キク	全体に細網密生、ロゼッタ葉、小さなタンポポ	コオニタビラコ
13	コマツヨイグサ	小待宵草	アカハナ	パイオニア植物	外来 マツヨイグサ
14	ゲンバインズナ	軍配薺	アブラナ	果実が軍配型、ロゼッタ葉、食用、バイオ燃料、亜鉛	外来
15	ヒナキキョウソウ	雛桔梗	キキョウ		外来 キキョウソウ



アメリカフウロ



ヤハズエンドウ



ノイバラ



カナメモチ

夏の始まり これだけは押さえておきたい樹木13種

No	標準和名	漢字表記	科	ポイント	メモ
1	ハリエンジュ	針槐	マメ	花	別名:ニセアカシア 蜜源植栽→逸出(逃げ出し)
2	シャリンバイ	車輪梅	バラ	花	樹皮-タンニン+泥-鉄→大島紬染料、公園木、垣根
3	ツクバネウツギ	衝羽根空木	スイカズラ	花	萼の形 ジャスミンの香り
4	タカノツメ	鷹の爪	ウコギ	花~果実	雌雄異株
5	エゴノキ	えごの木	エゴノキ	花	別名:チサノキ Japanese snow bell
6	ノイバラ	野茨	バラ	花	落葉低木、園芸種のバラの台木、香水
7	ナワシロイチゴ	苗代莓	バラ	花	別名:サツキイチゴ、落葉低木、枝はツル状
8	スイカズラ	吸い蔓	スイカズラ	花	金銀花 忍冬 honey suckle(授乳)
9	ツルウメモドキ	蔓梅擬	ニシキギ	花♀	雌雄異株 類似種多い ニシキギ科:マユミなど
10	ネジキ	捻木	ツツジ	蕾	「ヒメボタル指標樹木」
11	ガマズミ	莢蒾	レンブクワ	花	コバノガマズミ、ミヤマガマズミに比べ1ヵ月遅れ
12	アオハダ	青肌	モチノキ	花♀♂	雌雄異株
13	カナメモチ	要藺	バラ	花	「赤芽(レッドロビン)」の近似種

相生山のヒメボタル(姫蛍)

目	科	種	学名
コウチュウ (甲虫)	ホタル (蛍)	ヒメボタル (姫蛍)	<i>Luciola parvula</i> (Kiesenwetter)

名古屋市redlist2020 準絶滅危惧種(NT)

ヒメボタルは 相生山緑地の
『象徴種＝flagship species』
その魅力によって その生育場所の
保存を 世間にアピールする
ことができる種。

写真家 加藤文雄氏 2014.5撮影
ご本人より提供 無断転載禁止



未だ分かってないことも多いのですが・・・

◆その一生 成虫・・・♀≒7mm(後ろ羽根退化して飛べない)♂≒9mm 羽化 1週間～10日間、発光により生殖相手を求め交尾、産卵後死滅。その寿命は雨や気温など天候の影響が大きい。人間からの圧力も。
「(相生山では)ミカンの花匂うころ発生し、栗の花が匂いだすと消滅する」と言われてきた。

卵・・・φ=0.6mm 孵化するまで1ヵ月程度

幼虫・・・孵化直後は2.5mm程度 陸貝などを餌にし、順調に成長できれば翌年3月ごろに 蛹(サナギ)へ・・・「成長不良な個体は更に1年、幼虫で過ごす」

◆その餌 成虫・・・水しか摂らない。

幼虫・・・肉食。陸貝の中に入りこみ、その身を食るところが目撃されている。

「幼虫の餌は陸貝だけではないのだろう。陸貝の数に比べて、ヒメボタルの個体数は多すぎる」
(川瀬先生/愛知みずほ大) 「調査中ですが、ヒメボタルの生息域と陸貝の分布域は必ずしも一致していない」(日野先生/名城大)

◆なぜ相生山に？ 地質・・・堆積層(砂・礫・腐葉土など)の下に不透層(粘土質)があつて、幼虫の食餌となる陸貝などの小さな生物が生育できる環境条件が整っている。

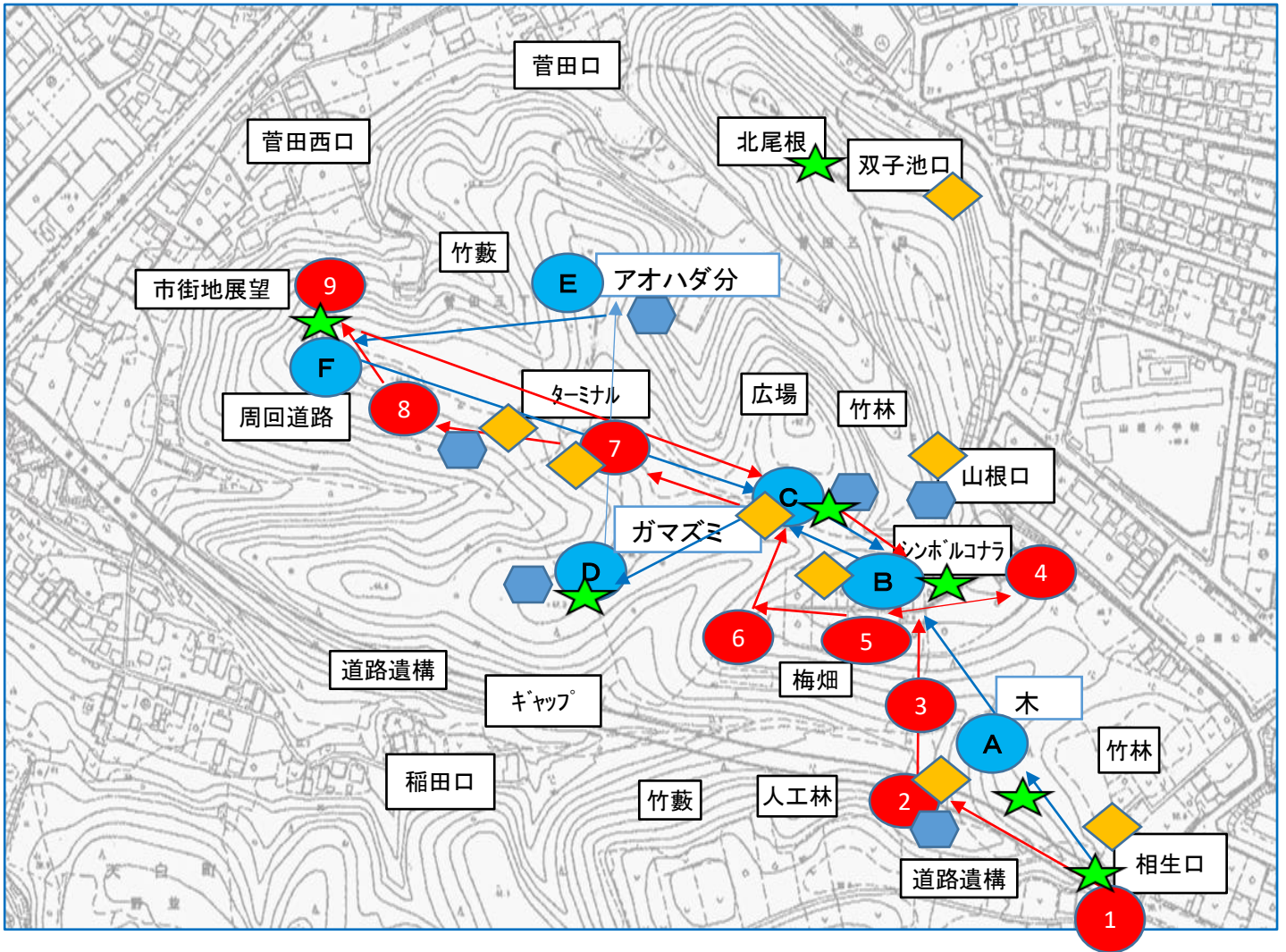
◆夜中が飛翔のピーク：「人間が夜を明るくしてしまったので、発光効率を求めて次第に遅くなっていったのではないか。曇りの夜に飛ぶ数が少ないのは、雲が都会の光を反射して森のなかも明るくするからと思われる」(高岡立明/環境カウンセラー) 2018.5作成

ヒメボタルとの出会い☆ちよつとうるさい注意事項		相生山の四季を歩く会 2017.5作成
1	すべります、つまずきます 「悪路」に注意 杖(ストック・雨傘)お勧め	* むき出しの道は丸いごろごろ石とザラザラ砂 * 数百万年の昔、この辺り一帯(=名古屋東部丘陵)は水底や水辺だったそうです。[東海湖、古木曾川]説 腐葉土、水を透す層、透さない地層。 ヒメボタル幼虫の餌になる陸貝などの小さな動物が生息する条件。
2	路の中心を歩いてください	* もともとはヒメボタルの生息域です。 人間は後からそこへ入ってきて、住んだり、耕したり。 「観察・観賞・見物・撮影」で負荷をかけています。 ヒメボタルの♀は後ろ羽根が退化して飛ぶことができないそうです。 踏んでしまうことのないように。
3	灯りは禁止(その①) 森の中では無灯が原則 着衣に白っぽい目印を	* ヒメボタルの発光は、交尾相手を探す手段 * 成虫は水だけを摂り、1週間で死滅 人工の光は、自然のいのち破壊につながりかねない。 「蛍の恋路を邪魔しないで」
4	撮影者に要注意	場所によっては「自己中な」カメラマンもいたりします。 (とりあえずは)無視してください。 機材などにぶつかって転倒しないように。
5	出会えればラッキー！！	* 時期のピークはいつか、誰にもわかりません。 * 深夜になれば出現数は多くなるようです。 異常気象、経済活動など人為的要因。
6	灯りは禁止(その②)	夜の森歩き。いつもと違う体験を！ ワクワクしたり、どっきりしたり・・・

今日のコース、(予定)タイムテーブル

1 野鳥 9:00出発

A 樹木 9:30出発



野鳥コース		
順路	エリア	時刻表(目途)
A	竹藪~木道	9:15
B	シンボルコナラ	9:30
C	広場	10:00
D	コナラの谷	10:20
E	アオハダ分岐	10:50
F	周回道路	11:20

植生コース		
No	ポイント	時刻表
1	草本①	9:30~9:50
2	エゴノキ	10:00
3	ノイバラ	10:20
4	シャリンバイ	
5	草本②	10:30~10:45
6	スイカズラ	11:00
7	ガマズミ	11:15
8	オトシブミ	11:30
9	カナメモチ	11:40

★ ウッドデッキ、ベンチ

⬡ 防火用水

◇ 案内板など



ヒメクロ(姫黒)オトシブミは揺籃を切り落とさない



♀



♂は頭部が長い

きょうは母の日なのでオトシブミ(落とし文)のお母さん

オトシブミ……落とす+落とさない両方